

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県小鹿野町 国民宿舎 両神荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
0.0	87.1	4,302	168	

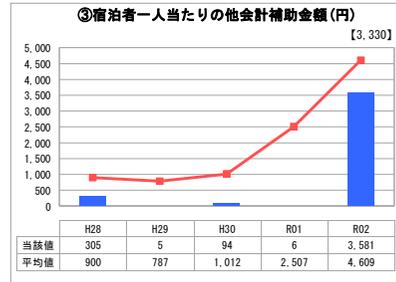
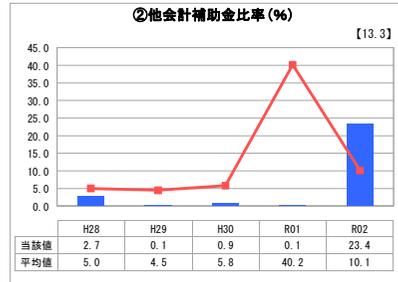
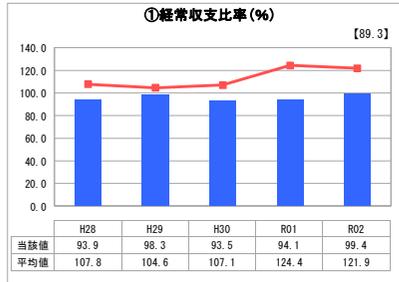
客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
10,291	無	60.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
無	85.7	有

**グラフ凡例**

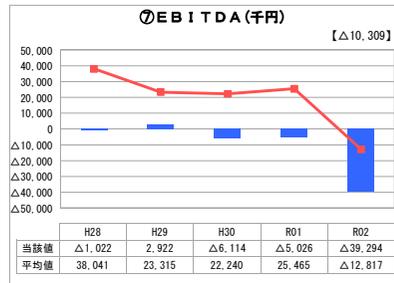
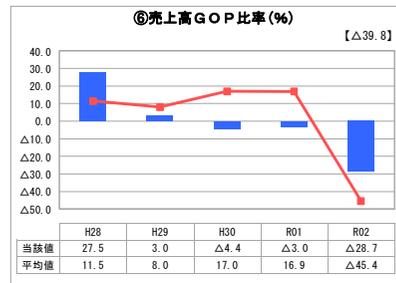
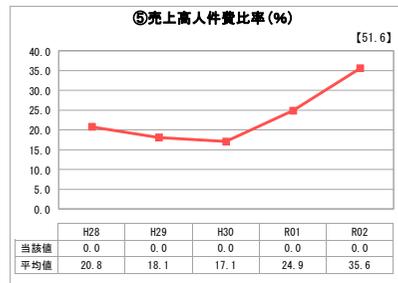
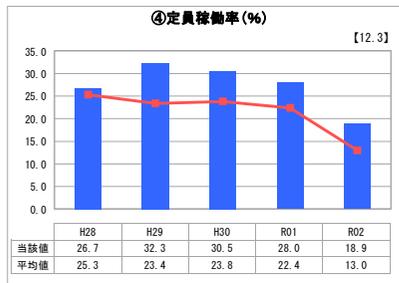
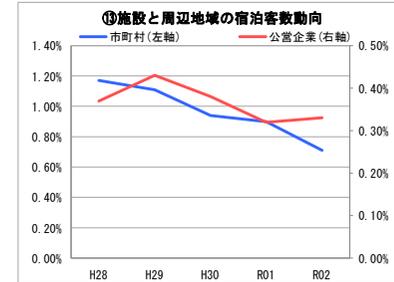
- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)

【】 令和2年度全国平均

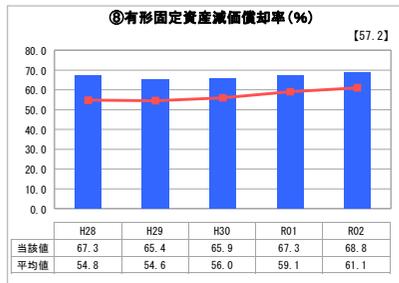
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

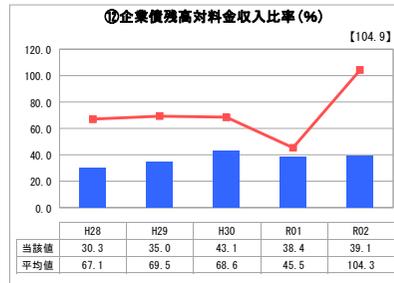
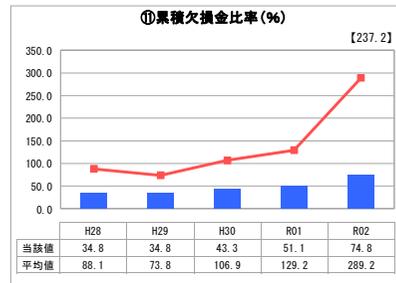


⑨施設の資産価値 (千円)

475,548

⑩設備投資見込額 (千円)

0



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**

①経常収支比率は、コロナ禍の影響により利用者数、営業収益が減少したため100%を下回りました。

②③他会計補助金比率、宿泊者一人当たりの他会計補助金額は、利用者数、営業収益の減少や修繕費等の費用が増えたため増加しました。

④定員稼働率はコロナ禍の影響により前年度より低下しましたが、集客への取り組みにより類似施設平均値に比べると上回っており経営改善が図られてきています。

⑤売上高GOP比率とは、営業収益に対する営業総利益（粗利益）の割合を表しますが、収益の減少により数値も低下しました。

⑦EBITDAとは、減価償却前営業利益のことですが、類似施設平均値を下回っているため利用人員の増加など収益確保に努めます。

**2. 資産等の状況について**

⑧有形固定資産減価償却率は、類似施設平均値を上回っています。当施設開業から40年以上が経過し今後も施設の老朽化が進むことから、計画的な施設の整備、更新に努めます。

⑩累積欠損金比率は、前年度より上昇しましたが類似施設平均値は下回っています。当施設は赤字が続いているため欠損金比率が上昇傾向にあります。引き続き経営改善を進め赤字額の縮小に努めます。

⑫企業債残高対料金収入比率は、前年度に比べわずかに増加しましたが、類似施設平均値に比べると大きく下回っています。今後、施設老朽化の進行により修繕費などの施設改修費用の増加が見込まれるため、料金収入の増加に努めます。

**3. 利用の状況について**

⑬当施設と周辺地域の宿泊客数動向は、全体的には下降傾向にあります。令和2年度は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの感染拡大防止対策が発令されたことなどにより、前年度に比べ利用者数が大きく減少しました。このため、当宿舎ホームページの改修やオンライン旅行サイトへのPRなどを行いました。これらの結果から、周辺地域の宿泊客数動向に比べ当宿舎の宿泊客数は持ち直しの傾向が見られます。

## 全体概括

昭和50年に公営国民宿舎としてオープンし、近年の宿泊者数15,000~20,000人前後となっています。開業から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいるため施設の改修費用も増加する傾向にあり、厳しい経営状況が続いています。令和2年度は、コロナ禍の影響で利用者数、営業収益も低迷しました。厳しい経営環境が続く中ではあります。より快適で安全に利用できる町営国民宿舎として、健全な事業運営ができるよう経営改善に努めます。